

英語 2020年度東京都立高校一般入試 入試分析

～入試ではこう出る!!～

【出題内容】

全23問 1問4点 (2-3-(2)(作文)のみ12点)

約10分間のリスニングの後、残りの問題を効率よく解かなければならない。図表を絡めた会話文・Eメール・条件英作文の複合問題、対話文問題、長文問題の大問3つの形式には慣れが必要。リスニングの5問目と条件英作文以外はすべて選択問題だが、選択肢はすべて英語表記である。

1 リスニング問題

全5問 1問4点 計20点

短い会話文の3問と、スピーチの2問という形式は昨年と同じ。今年は会話文が少しだけ長くなったが、難度は変わっていない。特にスピーチはしっかり聞いて、最後の記述問題で正解に書ければ、ライバルに差をつけることができる。聞き取る文章～問いの流れは2回繰り返されるので、1回目であらすじと問題、2回目で解答となる内容を聞き取り、必ず全問正解したい。

2 図表を絡めた会話文・Eメールの読解と条件英作文

全4問 1問4点(英作文のみ12点) 計24点

形式・難度とも昨年と同じ。図表と会話文の問題では、与えられた条件をしっかりとる丁寧さが必要。Eメールの問題では、初めに登場するEメールの中に、返事のEメールを作る自由英作文に応用できる部分があるので、うまく利用して満点解答を作成したい。あまり難しい語句や文法を用いず、簡潔かつ明確な3文を書ききりたい。

3 対話文読解

全7問 1問4点 計28点

難度は昨年と同じ。前半の4問は代名詞が指す内容、省略された部分の説明、発言の理由や趣旨の説明を選ぶ問題で、例年通り。[問6]は適する接続詞を選ぶ問題。問7は本文の内容に関する日記文を完成させる問題。4人の登場人物の言動を確実に 捉えることが大切。

4 長文読解

全7問 1問4点 計28点

形式・難度とも昨年と同じ。文章の長さは750語程度で年々増加する傾向にある。[問1]は本文中の下線部の内容を問う問題。[問2]は本文の流れを説明する4つの英文の順整序。[問3]は本文の内容を説明する英文の空所選択補充。[問4]は本文の内容に関する英問英答の計5問。全体のあらすじを把握する力、確認したい場面をすぐに見つけられる力が必要。英文が長くなる傾向で、時間内に処理する能力が必要。また、訳注はつくものの語彙の難度も年々上がっている。いずれも学校の勉強だけでは身につかない。英語は得点を稼ぐことができる科目。苦手と感じる生徒こそ学習する時間を増やして、早めに克服して力をつけるべきである。

実際の問題にチャレンジ!

2-3(2)(英作文)※一部抜粋

- 前後の文につながるよう書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること。
- Janeに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由などを含めること。

I will try to answer your question. There is one thing that we can do to live more eco-friendly lives. I will tell you about it. [注] eco-friendly 環境にやさしい

I want to tell you more about this when we meet again.